



「違いを尊重する教育とは何か」

谷島直樹先生と行くマレーシア教育視察ツアー



～多民族・多宗教社会に学ぶ、
共に生きるための保育・教育～

2027年2月21日（日）～2月25日（木）5日間

マレーシア教育視察ツアーのご案内

現在の日本では、外国籍の子どもたちが共に学ぶことも珍しくなくなりました。宗教や文化、生活習慣の違いにより、教育現場ではさまざまな配慮や工夫が求められています。多民族・多文化・多宗教が共存するマレーシアでは、どのような取り組みが行われているのでしょうか。現地の教育現場を実際に訪れ、日本とは異なる教育や環境を「見て」「感じて」学びます。これからの日本の教育現場に活かせる、新たな気づきやヒントを見つけに行きましょう。



企画・実施 株式会社A T I



ツアー同行 谷島 直樹先生



日本で7年保育士として勤務した後、2014年にニュージーランドへ渡り、オークランドの保育園・幼稚園・小学校で約8年間、教育実践を重ねた。小学校では教員として小学0～1年生を1年半担任。帰国後は、こども園の園長として、ニュージーランドで学び実践してきた視点を生かしながら、保育者とともに日々の保育に取り組んできた。現在は、日本国内で客員教授・非常勤講師を務めるほか、園内研修や自治体主催の研修・講演にも携わっている。ニュージーランドのナショナルカリキュラム「Te Whāriki」やラーニング・ストーリーの思想を手がかりに、「子どもはすでに育つ力を持っている存在である」という前提から、保育やアセスメントのあり方を問い直す実践と発信を続けている。近年は、ニュージーランドの二文化主義に加え、多民族・多宗教・多言語社会における教育にも関心を広げている。マレーシア・ジョホールバルに約3か月滞在し、幼児教育施設、小学校、インターナショナルスクール、イスラム系幼稚園、オルタナティブ教育など15園・校以上を視察。マレーシアの教育現場や社会を通して、違いを尊重するとはどういうことか、そして日本の保育・教育現場で多文化共生をどう考えるのかを探究している。九州大谷短期大学客員教授。聖徳大学大学院博士課程前期修了、児童学修士。ニュージーランド保育士資格・教員免許を有する。

著書

『ニュージーランドの保育園で働いてみた——子ども主体・多文化共生・保育者のウェルビーイング体験記』（ひとなる書房）は、2022年度日本保育学会文献賞を受賞。

募集説明会動画

谷島先生と現地コーディネーターMariさんからのご案内となります。
大切なご案内となりますので、ぜひ最後までご視聴ください♪



研修の目的

多民族・多宗教・多言語社会における「共に生きる」を考える

マレーシアでは、民族、宗教、言語の違いが日常の中にあります。

このツアーでは、教育現場や街の様子を通して、「違いをなくす」のではなく、「違いを尊重」しながら共に生きる社会のあり方を考えます。

海外につながる子ども・家庭への理解を深める

日本の保育・教育現場にも、海外につながる子どもや家庭が増えてきています。

言語、宗教、食文化、家族観、教育観の違いに出会ったとき、私たちは何を知らうとし、どのように関わるができるのかを考えます。

違いを受け入れるだけでなく、共に生きる形を探す

多文化共生は、相手の違いをただ受け入れることではありません。

受け入れる側が相手の文化や背景を知り、尊重しようとする事。

同時に、その場に加わる人も、共に生活していくために少しずつ理解し、歩み寄っていくこと。何を大切にし、何を变え、どこで折り合いをつけるのか。

このツアーでは、マレーシアの教育と社会を通して、共に生きるための形を考えます。

予定日程表

	月日（曜）	都市名	交通 機関	現地 時間	日 程 [滞在先]
1	2027 年 2 月 21 日 (日)	成田 クアラルンプール	MH89 専用車	10:05 17:00	成田空港第 2 ターミナルに集合、搭乗手続き 航空機にて空路、クアラルンプールへ クアラルンプール到着 到着後、入国審査 専用車にてホテルへ 【所要時間：7 時間 55 分、時差：－1 時間】 [×機×／ホテル]
2	22 日 (月)		専用車	午前 午後	幼児教育施設① 視察（イスラム） 視察先：Summer Kindergarten 予定 幼児教育施設② 視察（インターナショナル） 視察先：難民学校予定 幼稚園予定 ホテルへ戻る [B××／ホテル]
3	23 日 (火)		専用車	終日	社会・文化理解のためのフィールドワーク・ ディスカッション クアラルンプール市内を巡りながら、マレーシアの他民族・他宗教 を体験的に学びます。宗教施設、街並み、食文化、生活文化、歴史的 背景に触れながら、教育施設の背景にある社会や文化を理解するた めのフィールドワークを行い、アウトプットとしてディスカッションを 行います。 (バトゥ洞窟～国立モスク～独立広場～チャイナタウン～ツインタ ワー) [B××／ホテル]
4	24 日 (水)		公共交通	終日	自由行動 各自の関心に応じて、クアラルンプールで自由に街歩き、文化体験、 買い物、食事など、自分自身の関心に合わせて学びを深める時間です。 [B××／ホテル]
5	25 日 (木)	クアラルンプール 成田	専用車 MH70	9:30 17:30	専用車にて空港へ 航空機にて帰国の途へ 【所要時間：7 時間 00 分、時差：＋1 時間】 到着後、入国審査、解散 [×機×]

B：朝食 L：昼食 D：夕食 ×：食事なし

利用予定航空会社：マレーシア航空

※スケジュールは都合により変更になる場合があります。

※交通機関並びに時刻は変更になる場合があります。

※滞在ホテルは The KUALA LUMPUR JOURNAL または同等クラスを予定しております。

旅行条件

< 2026 年 9 月 28 日設定 >

1. 旅行期間: 2027 年 2 月 21(日) ~ 2 月 25 日(木) 5 日間
2. 日 程: 日程表をご参照下さい。
3. 参加人数: 20 名 (最少催行人数 14 名)
4. 旅行代金: **386,000 円**

*「上記旅行代金に含まれないもの」の項目①に掲載しております海外空港諸税は為替レートにより変動します。

※上記旅行代金に含まれるもの

- ①エコノミークラス利用往復航空運賃
※燃油特別付加運賃は含まれております。
- ②旅行日程に明示した視察及び研修にかかる費用
- ③宿泊費用(4 泊/2 名 1 室利用)
- ④日程に明示した食費
- ⑤手荷物運搬料金(スーツケース)
(重量: 30 kg まで
縦・横・高さの合計: 158cm 以内のもの 1 個)

※上記旅行代金に含まれないもの

- ①成田空港施設使用料・海外空港諸税・国際観光旅客税
(2026 年 9 月現在: 約 11,010 円)
- ②燃油サーチャージ(2026 年 9 月現在: 約 52,000 円)
- ③海外旅行保険料(任意加入)
- ④日程に明示した以外の食費
- ⑤個人的な費用(電話代、通信費、郵便・切手代、ランドリー代、心付け・チップ、土産代など)
- ⑥超過手荷物料金: 1 人あたり 20kg を超過する場合
- ⑦一人部屋利用追加料金: 60,000 円

5. 参加申し込み方法: 2026 年 11 月 15 日(日) までに右記 QR コードよりお申込みください。



6. 募集型企画旅行契約: この旅行は、株式会社ATI(以下「当社」という)が企画・実施するものであり、参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。旅行契約の内容・条件は、別途お渡しする当社旅行業約款募集型企画旅行契約の条件書および、ご出発前にお渡しする最終の旅行日程表と称する確定書面によります。
7. 旅行代金のお支払い: 申込みと同時に参加申込金として、**50,000 円**を下記口座にお振込みください。参加申込金のお振り込みあるいはお支払いの確認後、当社の承諾により旅行契約が締結されます。この申込金は旅行代金の一部となり、残金は 2026 年 11 月 15 日(日)までにお振り込みいただきます。残金につきましては、改めてご案内いたします。

三井住友銀行 ひなぎ支店(当座) 2854054
口座名 『カ』エイティーアイ』

8. 取 消 料: 参加お申し込みの後、お取り消しされた場合は下記取消料がかかりますのでご注意ください。

- ・旅行開始日の前日から起算し、さかのぼって 30 日目に当たる日以降の取り消し..... 旅行代金の 20%
- ・旅行開始日の前々日以降～ご出発日当日出発前までの取り消し..... 旅行代金の 50%
- ・旅行開始後取り消し、または当日無連絡の不参加..... 旅行代金の 100%

9. 免 責: 当社は、参加者が次に例示するような事由により被られた損害または旅行日程の変更もしくは旅行の中止については責任を負いません。ただし、当社または当社の手配代行者の故意または過失が証明されたときはこの限りではありません。

天災地変、戦乱、暴動、運送・宿泊機関の事故もしくは火災、日本または外国官公署の命令、外国の出入国規制、伝染病による隔離、食中毒、盗難、運送機関の遅延・不通・スケジュール変更

株式会社ATI



観光庁長官登録第 141 号・一般社団法人日本旅行業協会(JATA)正会員・国際航空運送協会(IATA)公認

新しい消費者保護制度 JATA ボンド保証協会に加入

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-4-1 神田岩本町プラザビル8階

電話: 03-5829-6396 FAX: 03-5829-6397

E-mail: handa@ati-jp.com ホームページ: <http://www.ati-jp.com>

総合旅行業務取扱管理者: 上杉 真 担当者: 半田・三世

(営業時間: 9:00~18:00 土日祝を除く)



旅行業協会正会員

